Hewlett Packard Enterprise

AMD

AMDパートナー倶楽部オンラインセミナー
事例にみるAMD提案のポイント

日本ヒューレット・パッカード合同会社
デジタルセールス・サーバー事業統括本部
サーバー製品本部　ビジネス開発部
深澤 忠寿

日本AMD株式会社
コマーシャル営業本部
パートナービジネス推進室長
峰岸 博英

November 29th, 2022

AMD製品を提案する際のポイント

-仮想化環境
-VDI環境
-機械学習環境

仮想化環境

株式会社 ジェット様

- 第2世代AMD EPYC™ プロセッサー搭載、
- オールSSD構成のHPE ProLiant DL385 Gen10サーバーに物理サーバー5台を統合

採用機種： DL385 Gen10

お客様が達成したいこと

お客様のシステム要件

物理サーバー5台を仮想化で集約

オンプレミスでの最適化

大容量SSD搭載

大容量メモリ、SSDによるワークロードの安定化

ソフトウェアライセンスや運用・保守を含むコスト削減

省コスト化 → 2Uサーバーへ仮想化統合し導入、管理コストを削減

高性能化 → 1 CPU構成でも必要コア数を提供し、省コスト化

→ 大容量メモリ、SSDと組み合わせボトルネック解消

サーバーご選定のポイント

ファイルサーバー、Webサーバー、アプリケーションサーバー
データベースサーバー

物理サーバー5台を1台に仮想化統合

AMD EPYC™ プロセッサー搭載
HPE ProLiant DL385 Gen10サーバー
- AMD EPYC™ 7502（1CPU/32コア）
- 512GB DDR4メモリ
- 20TB内蔵ストレージ（SSD × 24）

ジェットのサーバー選定の視点

① クラウド or **オンプレミス**
扱う情報の性格上クラウドには置けない

② **1CPUモデル** or 2CPUモデル
ソケット課金ソフトウェアのライセンスコストを抑制できる

③ 1Uサーバー or **2Uサーバー**
20本以上のSSD内蔵で大容量ストレージを確保できる

④ **AMD** or Not AMD
優れたコストパフォーマンス、より多くのCPUコアを利用できる

コア数って？　～コアはコックさん～

クロック数=料理の速さ
コア数=コックさんの人数
クロック数が大きくなると、料理が出来る時間が短くなる
コア数が多くなれば、「同時に作られる料理」が多くなる

複数の仕事を並行して処理できるのでシステムとしてパフォーマンスが高いと言える！

VDI環境

某市役所　様

- 性能と低価格を両立したVDI環境を構築
- コストパフォーマンス抜群の AMD EPYC で高集約

採用機種： DL385 Gen10

お客様が達成したいこと

お客様のシステム要件

- 既存リモートワーク環境のリプレイス
- 既存環境と同等のCPU性能
- ブートストームに耐えるIO性能
- コスト削減

既存環境と同等の性能 (同時接続時の性能)	高性能 AMD EPYC 採用による高性能化
ハードウェアコスト削減	AMD EPYCならではの多コア(64コア)対応
環境全体でのコストダウン	HW費用だけでなく、ソフトウェア費用、電気代も削減

某市役所　様(公開事例作成中)

- コストパフォーマンスの要求をクリア
- **HPE GreenLakeを活用**

採用機種： DL385 Gen10

お客様が達成したいこと

お客様のシステム要件

- **4か年計画で1,500以上のVDI環境を整備**
- **1ユーザーへの割り当て=4vCPU**
- **年度ごとに増加する必要リソースをGreenLakeで提供**

強いコスト要求	AMD EPYCおよびGreenLakeの採用による高コスパ実現
集約率向上	64コアCPUによる高集約率
十分なパフォーマンスの確保	ProLiantと相性のよいHPE Nimbleストレージ

CONFIDENTIAL | AUTHORIZED HPE PARTNER USE ONLY

同一性能/コア数で低価格

CPU 単体のコストパフォーマンス比較（小～中規模）

AMDなら同等性能を半分の価格で提供

Confidential | Authorized HPE Partner Use Only

ぱっと見、同じHPE PROLIANTでも・・・

CPU
6core

メモリー
16GB

HDD/
SSD
4TB

CPU
12core

メモリー
32GB

HDD/
SSD
8TB

多コアCPUで集約率を向上！

1台増えれば、
・サーバー稼働の電気代
・冷却費用
・ライセンス
・保守費
etc...
が増える

高集約=コスパ改善

AMD

機械学習環境

東京情報大学　様

- コンピューター増強により研究・開発の活動が活発化
- 学生のスキルアップと企業との共同研究を支える研究基盤として利用

お客様が達成したいこと

採用機種： DL385 Gen10
DL325 Gen10

お客様のシステム要件

- **マルウェア処理分類計算の処理能力向上**
- **コストパフォーマンス向上とリソース利用効率改善**
- **スパコンのリソースを参考**

コンピューターのパフォーマンス向上による計算時間短縮	計算時間の大幅な短縮（2～3カ月が1週間に、1～2カ月が2～3日に）
コストパフォーマンスと信頼性	計算の高速化により、教員や学生の利用効率化向上
将来的なリソースの増強	2ソケット CPU搭載可能

対性能比で効率の良い構成が可能なAMD EPYC

SPEC CPU Int Base　10,000 スコアを達成するコンピューティング・リソース

最新の32コアCPU
2ソケットサーバーで比較した結果

18%　台数少なくて済む

38%　電力消費が少ない

21%　3年間のTCO削減

EPYCの優位性を確認

Intel®

22 * 2P Intel® Xeon® Platinum (8358)

AMD EPYC™

18 * 2P AMD EPYC (7543)

See endnote MLNTCO-004A

AMD EPYC搭載 FRONTIERが首位獲得

- 第3世代AMD EPYCと AMD Instinct MI250Xを組み合わせたFrontier(米オークリッジ国立研究所) が、世界のスーパーコンピューターの計算速度ランキングである「TOP500」で首位を獲得しました。
- Frontierの性能は毎秒1Exaflops(エクサフロップス)を超え、世界で初めてエクサスケール(1秒間に10^{18}回)に到達しました。

- FrontierはHPE Cray EXアーキテクチャ(AMD Milan CPU、AMD Instinct MI250X GPU、Slingshot-11ネットワーキング)を使用しています。
- さらにスーパーコンピューターのエネルギー効率を評価する「Green500」でも首位を獲得しており、消費電力あたりの性能が高いというAMDプロセッサー※の特長が表れています。
※CPU、GPUを含む

※弊社サイトでのFrontierのご紹介
https://www.hpe.com/jp/ja/compute/hpc/cray/oak-ridge-national-laboratory.html

HPE X AMD ご支援体制

HPE X AMD パートナー倶楽部特典

※HPE登録販売店様に限ります

AMD EPYC搭載HPE製品を、みなさまの営業活動に活用していただく為のコミュニティーです！

AMD製品で
パートナー様のビジネス拡大を推進します

- ❖ お客様にとっての新たな選択肢に
- ❖ コストパフォーマンスを求められる案件に

●●倶楽部ご参加特典いろいろあります●●

- 売り方を含めたトレーニングも実施
- メンバー様だけに、早出し・お得情報アリ

HPE.com上で
御社をご紹介
します！

ご参加特典

- メンバー様限定専用メールニュース
- 検証機無償貸出 & 技術支援
- HPEウェブサイトに社名掲載
- メンバー様主催、イベント・セミナー実施支援
- メンバー様ソリューション/キャンペーンチラシ作成支援
- メンバー様専用ご相談窓口設置（直通）
- 販売台数に応じた豪華賞品プレゼント企画へのご参加

◆お申込み先・お問い合わせ先◆
日本ヒューレット・パッカード HPEパートナー事務局
E-mail ： jp.partners.office@hpe.com

まとめ

提案ポイントまとめ

- コストパフォーマンスの高さを訴求しましょう。
  →過去に提案いただいた経験のあるパートナー様には「圧倒的なコストパフォーマンス」と仰っていただいた実績もあります。

- CPU単体だけではなく、サーバー集約率を上げたり、
  ノード数を減らすことによって生まれるコスパもきちんとご説明を。
  →「安い」だけでは「悪かろう」とイメージする人も多いです。システムとして求める性能をもった上で、コスト削減できることをご案内しましょう。

- ポジティブなニュースでお客様の不安を払拭。
  →ロードマップ通りに第4世代EPYCがリリースされました。
  しかも競合が実現できていない、最大96コアという最新テクノロジーを搭載できています。その点ではもう2番手ではありません。

- 提案を差別化できます。
  →同じものを提案しても、価格のたたき合いになるだけです。違う物、良いものを提案して差別化できます。

THANK YOU

tadatoshi.fukazawa@hpe.com / Hirohide.Minegishi@amd.com